

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2002-268658 (P2002-268658A)

【公開日】平成 14 年 9 月 20 日 (2002.9.20)

【出願番号】特願 2001-67257 (P2001-67257)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 0 L 13/00

G 0 6 F 3/16

G 1 0 L 11/00

【F I】

G 1 0 L 3/00 J

G 0 6 F 3/16 3 3 0 K

G 1 0 L 7/02 A

G 1 0 L 9/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 19 日 (2003.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

音声を調和成分と非調和成分とに分解し、該調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープを、声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープとレゾナンスと前記調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープから前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスを減算した差分のスペクトル・エンベロープとに分解して記憶する記憶手段と

合成する音声の情報を入力する入力手段と、

フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープを発生する発生手段と、

前記入力された情報に基づき、前記記憶手段から読み出した、前記非調和成分と前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスと前記差分のスペクトル・エンベロープとを前記フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープに加算する加算手段と、

を有する音声合成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

音声を調和成分と非調和成分とに分解し、該調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープを、声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープとレゾナンスと前記調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープから前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスを減算した差分のスペクトル・エンベロープとに分解して記憶する記憶手段から前記非調和成分と前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスと前記差分のスペクトル・エンベロープとを読み出す読み出し工程と

合成する音声の情報を入力する入力工程と、
フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープを発生する発生工程と、
前記入力された情報に基づき、前記記憶工程から読み出した、前記非調和成分と前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスと前記差分のスペクトル・エンベロープとを前記フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープに加算する加算工程と、
を有する音声合成方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

音声を調和成分と非調和成分とに分解し、該調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープを、声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープとレゾナンスと前記調和成分のマグニチュード・スペクトル・エンベロープから前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスを減算した差分のスペクトル・エンベロープとに分解して記憶する記憶手段から前記非調和成分と前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスと前記差分のスペクトル・エンベロープとを読み出す読み出し手順と

合成する音声の情報を入力する入力手順と、

フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープを発生する発生手順と、

前記入力された情報に基づき、前記記憶手順から読み出した、前記非調和成分と前記声帯振動波形のマグニチュード・スペクトル・エンベロープと前記レゾナンスと前記差分のスペクトル・エンベロープとを前記フラットなマグニチュード・スペクトル・エンベロープに加算する加算手順と、

を有する音声合成手順をコンピュータに実行させるためのプログラム。